

【NEWS RELEASE】

2026年6月25日

各 位

株式会社三井住友銀行

Deep Sky Corporation への出資および日本における CDR/DAC 市場形成に向けた連携強化について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）は、お客さまの脱炭素支援の高度化および日本における Carbon Dioxide Removal（※1）（以下「CDR」）/ Direct Air Capture（※2）（以下「DAC」）市場の形成に向け、DAC および CO2 貯留プロジェクトの開発を手掛けるカナダの Deep Sky Corporation（CEO：Alexandra Petre、以下「Deep Sky 社」）へ社会的価値創造投資枠（※3）を活用し、出資契約（以下「本出資」）を締結いたしましたので、お知らせいたします。なお、三井住友銀行にとって、CDR/DAC 分野への出資は今回が初の取組となります。

三井住友銀行は、CDR/DAC 市場の形成に取り組んでいる中で、DAC におけるカーボンクレジットの需要の創出、日系企業との事業連携、市場環境の整備に向けた議論への貢献を目的として、2025年12月3日付で、Deep Sky 社と戦略的パートナーシップに関する覚書（以下「本覚書」）を締結しております。本出資は、本覚書に基づく連携を一段と深化させ、三井住友銀行の顧客基盤や金融ソリューションを活用したお客さまの脱炭素化支援および CDR/DAC 分野の案件形成を加速するものです。

気候変動対応においては、再生可能エネルギーの導入拡大や省エネルギー等による最大限の排出削減を進めてもなお残る「残余排出」への対応手段として、大気中から CO2 を除去する CDR の重要性が高まっています。なかでも DAC は、永続性の高い CO2 除去を実現し得る工業系 CDR の一つとして注目されております。Deep Sky 社は、複数の有望 DAC 技術の活用可能性を検証しながら、地下貯留まで含めた一体的なプロジェクト開発を行うプレイヤーであり、CDR/DAC 社会実装に向けた取組を進めています。

本出資を通じて、三井住友銀行は、Deep Sky 社が有する DAC プロジェクト開発、CO2 の貯留、高品質な CDR クレジット創出等に関する知見を活用し、DAC 由来カーボンクレジットの調達・活用支援や、事業者・需要家との連携機会の創出に取り組んでまいります。これらの取組により、お客さまの脱炭素化支援を強化するとともに、日本における CDR/DAC の社会実装および市場形成に貢献してまいります。

【ご参考】 Deep Sky 概要

設立	2023 年
所在地	カナダ・モントリオール
代表者	Alexandra Petre (CEO)
事業内容	大気中からギガトン規模の CO2 を除去し、地下に恒久的に貯留することを目指す、世界初の技術非依存型の DAC プロジェクトディベロッパー。 DAC プロジェクトの組成・大規模化、CO2 の圧入・貯留、DAC 由来カーボンクレジットの創出・販売を行う
ウェブサイト URL	https://www.deepskyclimate.com/

※1 CDR (Carbon Dioxide Removal : 二酸化炭素除去) とは、大気中等から CO2 を回収・固定化し、長期的に貯留する取組・技術の総称です。

※2 DAC (Direct Air Capture) とは、大気中の CO2 を直接回収する技術を指します。回収した CO2 は、地下貯留や有効利用等に用いられ、残余排出への対応手段の一つとして注目されています。

※3 社会的価値創造投資枠 社会的価値創造投資枠設定時のプレスリリース

「社会的価値の創造に向けた経費枠の設定について」(2024 年 5 月 17 日付)

(https://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20240517_01.pdf)

以 上